第1回 母乳バンクカンファレンス

早産児に対する母乳栄養の重要性と母乳バンクにおける取り組みを広く知っていただくことを目的として、

この度、第１回　母乳バンクカンファレンスを日本で開催いたします。

早産児の栄養において世界的に大変ご高名なAlan Lucas教授を招待してご講演いただきます。(同時通訳付き)

Alan Lucas教授の講演を直接学習できる貴重な機会です。

また、母乳バンクにおける安全性（ドナー登録・確認方法、トレーサビリティ）についても

専門家によるレクチャーもございます。

今後の日本における新生児医療を、栄養面から貢献したいという思いを込めて、

このカンファレンスを開催いたします。

みなさまのご参加を心よりお待ち申し上げます。

---------- **プログラム概要** ----------

10:45 - 12:15
超早産児に対する完全人乳栄養法の利点　Alan Lucas教授　（同時通訳）
12:15 -13:15
教育セミナー日本における母乳バンクの現状　水野克己　（軽食ランチ付き）

＊＊＊15 分　休憩＊＊＊

13:30 - 14:45
母乳バンクにおける安全性についてードナー選定、安全性、そしてドナーと提供された母乳のDNAが一致すること、そのほかの安全性について：トレーサビリティ、CMV問題など。
（同時通訳　Scott Eaker氏　（Prolacta Bioscience）
14:45 - 15:45
母乳の利点　Alan Lucas教授　（同時通訳）

＊＊＊15分休憩＊＊＊

16:00-16:30
母乳バンク開設後の3年間の経験　櫻井基一郎（昭和大学江東豊洲病院）
16:30-17:15
日本の新生児栄養の未来―日本で完全人乳栄養法は可能なのか　水野克己（昭和大学江東豊洲病院）

日時：2018 年 6月15 日（金）　10:45～17:30 （受付開始10:15～、閉場18:00）
場所：昭和大学江東豊洲病院9階講堂
参加費：10000円　（軽食ランチ付き）
お申し込み・詳細　：http://jhmba-1cf.peatix.com　または右記 QR コードより

Alan Lucas教授
Alan　Lucas教授は新生児期の栄養が将来にわたり
多くの影響を与えることをテーマに早産児から乳児まで幅広く研究されています。
論文数は200近くに及び、大変多くの研究論文を書かれています。

主催：昭和大学江東豊洲病院こどもセンター　共催：一般社団法人 日本母乳バンク協会